

茶の湯文化学会 北陸例会(令和六年度) 富山

『富山藩における林義牧派遠州流茶道について』

小堀遠州は加賀藩前田家の茶道指南役を務め、加賀藩主三代前田利常と四代光高は遠州に茶の湯を学び、茶道具収集にあたり盛んに仲介や助言を受けたことが知られています。加賀藩の支藩である富山藩においても、藩主が遠州流に親しんでいたことが記録に残っています。

当例会では、北陸・富山において、遠州流茶道がどのように伝わって来たのか、その歴史と伝承の内容について、磯野宗和氏に発表頂きます。

日時 二〇二五年(令和七年)

三月十五日(土)

十四時～十六時三十分

(受付は一三時三十分より)

場所 富山市 本丸亭

(富山城址公園内、富山市佐藤記念美術館横、富山駅 南口より徒歩10分)



定員 三〇名(自由参加)

会費 無料

講師 磯野 宗和 (林義牧派遠州流茶道十三代家元)

一九四九年生まれ。林義牧派遠州流茶道家元十三代。富山県茶道連盟顧問。富山県芸術文化協会参議。

父・神山より茶道と盆石を習い、二〇一二年家元を襲名。磯野家は、初代磯野長定が一六六五(寛文五)年に大石内蔵助の義姉を嫁にもらった縁で、義士が切腹した翌年の一七〇四年より、その霊を偲ぶ茶会「義士忌茶会」を開催し始め、今日まで三百年以上にわたり催し続けている。

申込・問合せ先

茶の湯文化学会 北陸例会 当例会担当：森本英裕

メール：morimoto@retroftc.co.jp

電話：080-4152-2731

